

令和3年12月期 決算説明資料

(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

令和4年2月15日

株式会社トーア紡コーポレーション

東京証券取引所 市場第一部

証券コード：3204

目次

1. トーア紡グループの企業理念	P. 3
2. トーア紡グループのSDGs	P. 4 ~ 6
3. 令和3年12月期 通期実績	P. 7 ~ 18
4. 令和4年12月期 通期実績予想	P. 19 ~ 20
5. 1株あたり配当	P. 21
6. トピックス	P. 22

トーア紡グループの企業理念

経営理念

【暮らしと社会の明日を紡ぐ】

当社グループは創業者の訓示である『顧客満足』『重点主義』『公平性』を脈々と受け継ぎ、人々そして暮らしの「アメニティ＝快適性・こちよさ」を追求する『暮らしと社会の明日を紡ぐ』企業グループであり続けます。

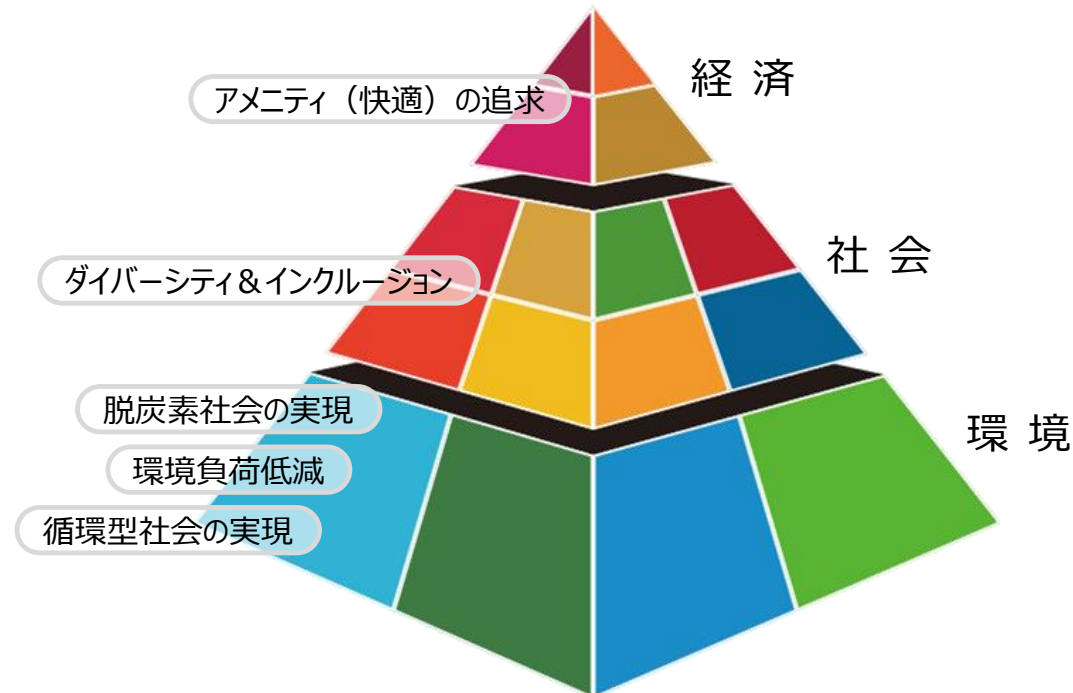
経営の基本方針

- ▶ トーア紡クオリティの追求と新しい価値の創造、環境負荷の低減に積極的に取り組むことを通じて、モノづくりの伝統を未来へつなげる。
- ▶ 時代に必要とされる新たな価値を創造することで社会に貢献し、求められる企業集団として成長、発展し続ける。
- ▶ 個性の尊重と和を重んじ、公正・公平な機会と活力ある職場環境を構築し、積極的に挑戦する企業集団であり続ける。

トーア紡グループのSDGs

SDGsへの取り組み

当社グループは、SDGsへの取り組みの中で5つの重要課題（**脱炭素社会の実現**・**環境負荷低減**・**循環型社会の実現**・**ダイバーシティ&インクルージョン**・**アメニティの追求**）を特定し、環境や社会への配慮を意識した事業活動を通じて、それに対応した仕組みや商品を生み出すことで経済に貢献し、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

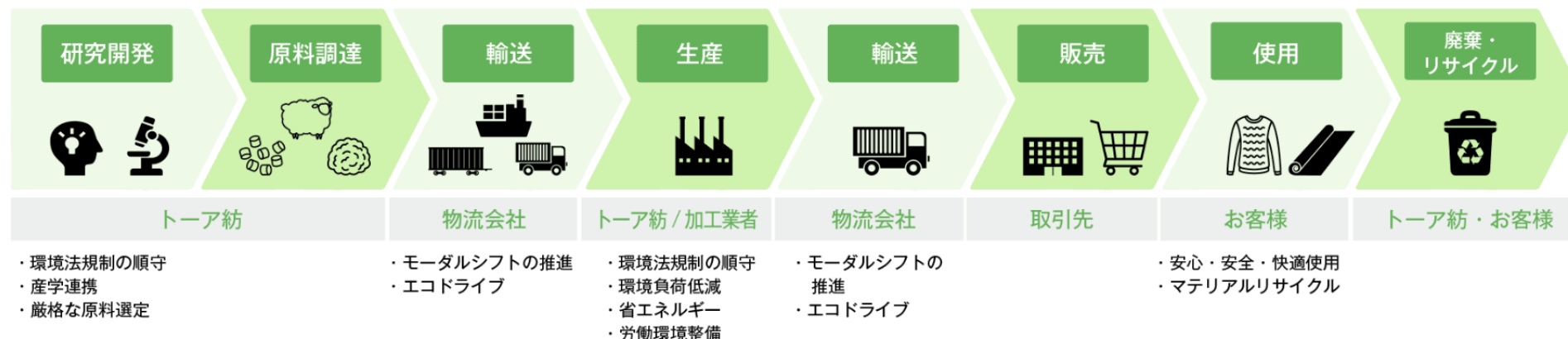


トーア紡グループのSDGs

実行計画①

『TOABO GREEN VALUE CHAIN』の構築

原材料から製品までのサプライチェーン全体で快適な製品の供給と環境負荷低減の両面を実現させる仕組みで、各種原料の安全性および人権尊重や労働環境の配慮を前提としたトレーサビリティの確立はもちろんのこと、各製造段階における温室効果ガス排出量の管理を徹底することで各種製品の環境への影響を考慮した生産と安全性を実現させていきます。



トーア紡グループのSDGs

実行計画② 『5つのマテリアリティ（重要課題）』 具体策

脱炭素社会の実現	<p>IoTによる生産効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電力、空調運転管理システム導入による使用エネルギーの削減 ・ 工程稼働管理システム導入、機械の運転状況「見える化」による生産効率向上 ・ ペーパーレスの推進 	
環境負荷低減	<p>設備更新による低炭素化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 排水処理設備導入による汚泥発生の低減 ・ 環境配慮型原料の活用 <p>グリーンエネルギー設備の積極的導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LNG等ガスボイラー、太陽光発電設備、CO2フリー電力の導入 	
循環型社会の実現	<p>リサイクル・アップサイクルシステムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 衣料回収型リサイクルシステムの推進 ・ 製造発生屑の再原料化と生産副産物のアップサイクル ・ カンボジアでの自然循環環境を活用した環境調和型養殖事業の確立 	
ダイバーシティ&インクルージョン	<p>多様な人材が活躍できる環境の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権に配慮した外国人技能実習生の定期受入 ・ 多様な人材を受け入れるインターンシップ制度の活用 ・ 場所にとらわれない労働環境の提供と子育て世代の雇用創出 <p>平等な社会への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原材料調達におけるトレーサビリティの強化 ・ 指定障がい者支援施設からの雇用 	
アメニティの追求	<p>環境・健康・快適に配慮した商材の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バイオプラスチック、植物由来原料等の活用 ・ 抗ウイルス、抗アレルギー素材の開発 ・ 防災関連商材の開発 <p>外部連携による研究開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクルカーボンファイバーの連続繊維化による実用化 	

令和3年12月期 連結決算概要

(金額：百万円)	実績			前年同期比 増減率
	令和元年12月期	令和2年12月期	令和3年12月期	
売上高	18,669	14,752	15,532	5.3%
営業利益	390	270	358	32.7%
営業利益率	2.1%	1.8%	2.3%	0.5ポイント
経常利益	351	297	417	40.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	165	184	258	40.6%

新型コロナウイルス感染拡大の影響が残るも、コスト削減効果などにより
増収増益

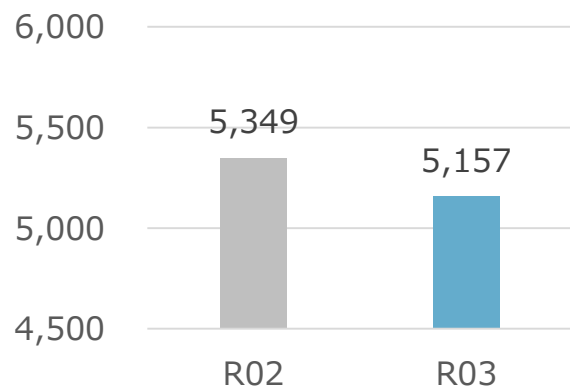
セグメント別業績概要

	実績									前年同期比増減率		
	令和元年12月期			令和2年12月期			令和3年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
(金額：百万円)												
衣料事業	7,717	80	1.0%	5,349	68	1.3%	5,157	102	2.0%	△3.6%	49.4%	0.7 ^{ポイント}
インテリア 産業資材事業	7,018	188	2.7%	5,608	19	0.4%	5,863	90	1.5%	4.5%	359.3%	1.1 ^{ポイント}
エレクトロ ニクス事業	1,726	12	0.7%	1,617	9	0.6%	2,298	46	2.0%	42.0%	401.6%	1.4 ^{ポイント}
ファイン ケミカル事業	1,174	149	12.8%	980	61	6.3%	1,022	44	4.4%	4.2%	△27.4%	△1.9 ^{ポイント}
不動産事業	765	482	63.0%	848	530	62.5%	890	544	61.1%	5.0%	2.6%	△1.4 ^{ポイント}
その他	267	△65	—	348	△7	—	300	△38	—	△13.7%	—	—
調整額 (販管費等)	—	△457	—	—	△411	—	—	△430	—	—	—	—
合計	18,669	390	2.1%	14,752	270	1.8%	15,532	358	2.3%	5.3%	32.7%	0.5 ^{ポイント}

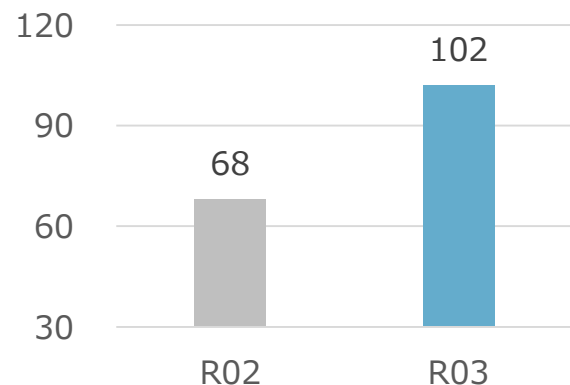
衣料事業

(単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高	5,157百万円	3.6%減
営業利益	102百万円	49.4%増
営業利益率	2.0%	0.7ポイント増

業績概要

▶ 毛糸部門

ライフスタイルの変化による需要減が回復せず低調

▶ ユニフォーム部門

スクール向けは新規案件獲得で堅調に推移、ニット製品の受注が低調で前年並みの売上となるも、コスト削減の効果により増益

官公庁向けは調達数量減少の影響を受け減収

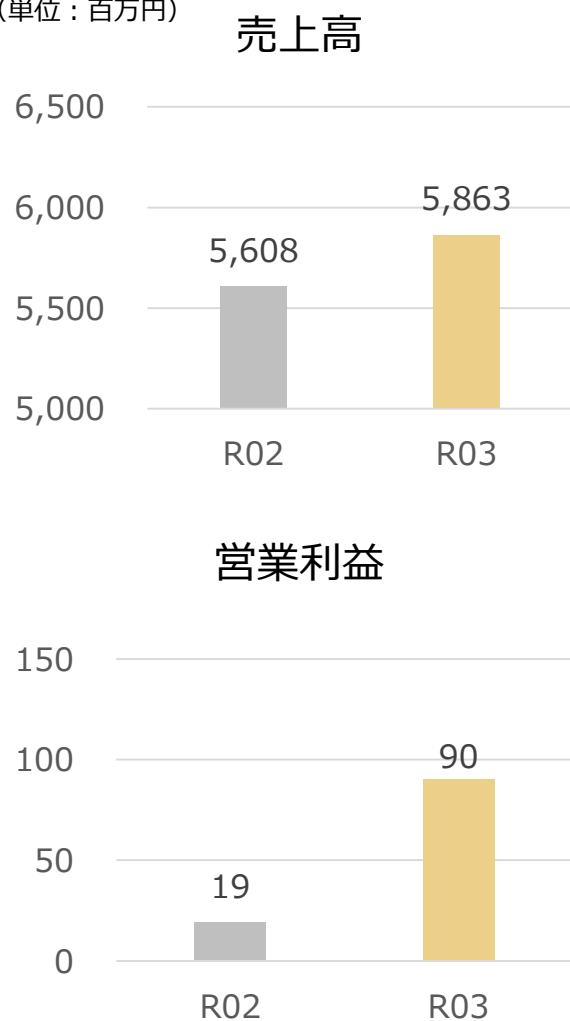
企業向けは需要低迷により新規および追加受注が低調で減収

▶ テキスタイル部門

郊外量販店の店舗閉鎖、売り場面積縮小などが一巡し増収

インテリア産業資材事業

(単位：百万円)



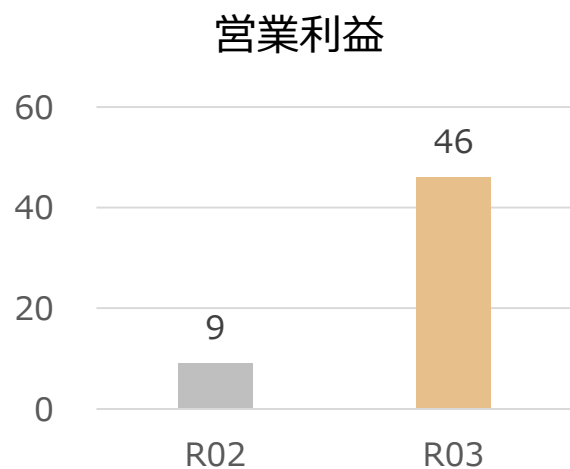
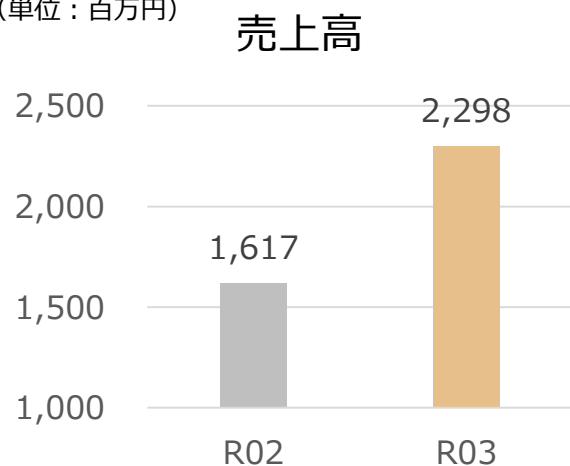
売上高	5,863百万円	4.5%増
営業利益	90百万円	359.3%増
営業利益率	1.5%	1.1ポイント増

業績概要

- ▶ ポリプロファイバー部門
自動車内装材用原綿の需要は堅調、カーペット用原綿も小規模展示会、オリンピック需要等あり増収増益
- ▶ カーペット部門
ホテル、オフィス、ダストコントロールマット用途の需要が減少するも、一般資材の回復と生産効率改善により増収増益
- ▶ 特殊繊維部門
生産量が増加し増収増益
- ▶ 自動車内装材部門
生産は回復傾向にあったが、9月からの半導体不足の影響が大きく微減収増益
- ▶ 不織布部門
土木関連が若干落ち込むも、寝装、防草、緑化関係が順調に推移し増収増益

エレクトロニクス事業

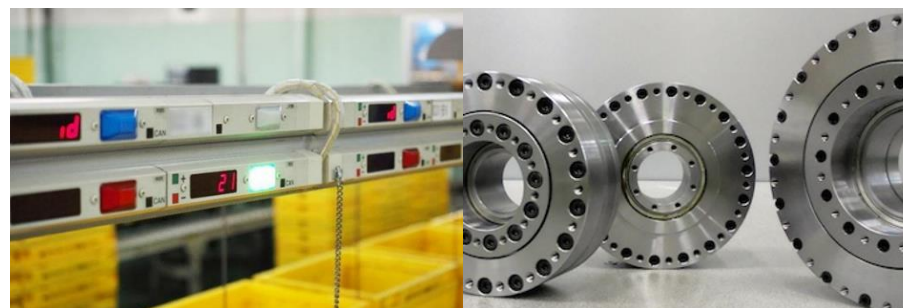
(単位：百万円)



売上高	2,298百万円	42.0%増
営業利益	46百万円	401.6%増
営業利益率	2.0%	1.4ポイント増

業績概要

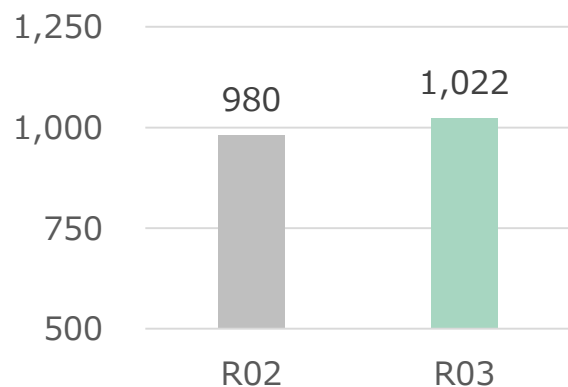
- ▶ 主力の電動工具向けコントローラーに加え、産業機器、医療機器、衛生関連の分野でパワー半導体の受注が大幅増
- ▶ 生産部材の逼迫や度重なる原材料の値上げによる収益悪化の懸念も、代替調達ルート確保、客先への値上げ承認などにより増収増益



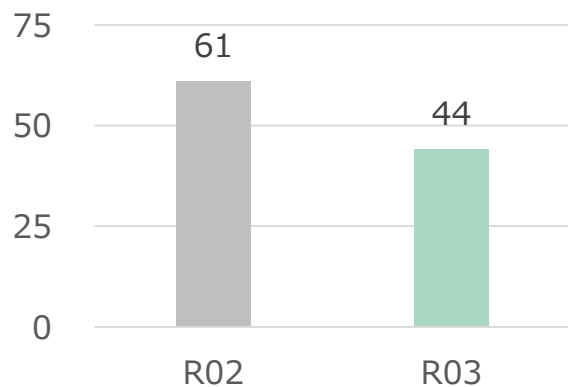
ファインケミカル事業

(単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高	1,022百万円	4.2%増
営業利益	44百万円	27.4%減
営業利益率	4.4%	1.9ポイント減

業績概要

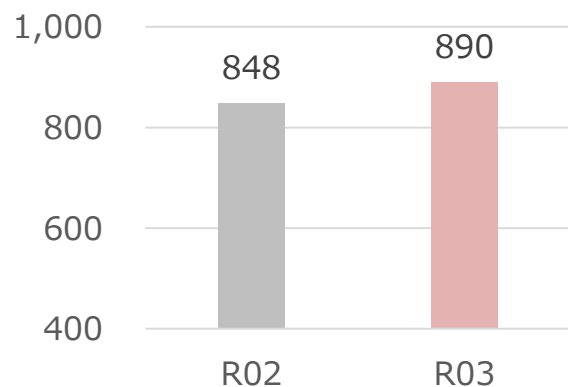
- ▶ 電子材料分野はデジタル機器とフォトレジスト向けの需要増により増収
- ▶ ヘルスケア分野は医療機関の診察規制や受診控え、競合との価格競争激化、ジェネリック業界の品質不正問題の影響が重なり受注減



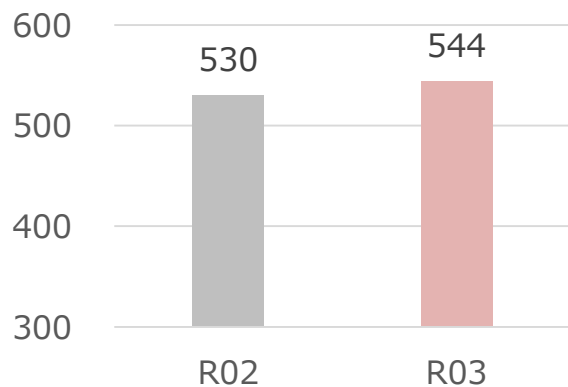
不動産事業

(単位：百万円)

売上高



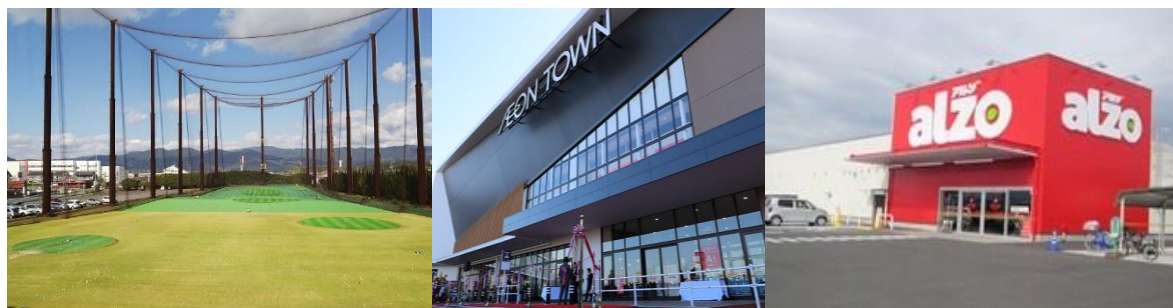
営業利益



売上高	890百万円	5.0%増
営業利益	544百万円	2.6%増
営業利益率	61.1%	1.4ポイント減

業績概要

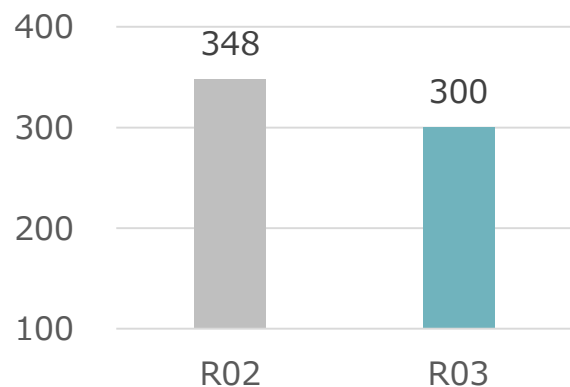
- ▶ ロードサイド店舗の一部テナントに撤退があったものの、郊外型ショッピングセンターの賃貸収入の増加に伴い増収増益
佐賀県のゴルフ練習場も施設リニューアル工事が完了し、引き続き好調



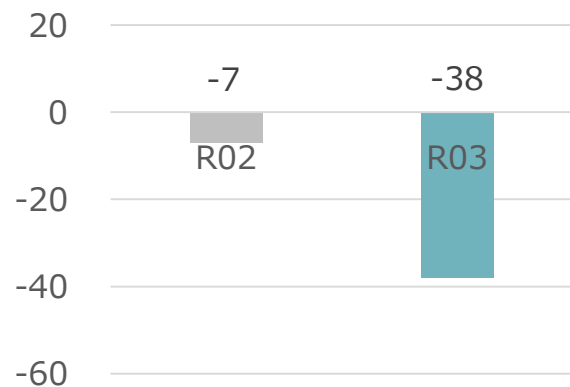
その他の事業

(単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高 300百万円 13.7%減

営業損失 38百万円 前年同期は営業損失7百万円

営業利益率 — 前年同期も利益なし

業績概要

- ▶ 自動車教習事業
積極的な募集活動により入校生が増加し増収
- ▶ ヘルスケア事業
化粧品はOEM販売が復調の兆しも、対面販売方式が低調
フコイダン[®]は海外での健康食品用途の販売が延期となり減収
- ▶ その他
カンボジア現地法人設立、新ブランドの開発およびECサイト立ち上げなど、新規事業展開のための初期費用が発生



新型コロナウイルス感染拡大による 当社事業への影響



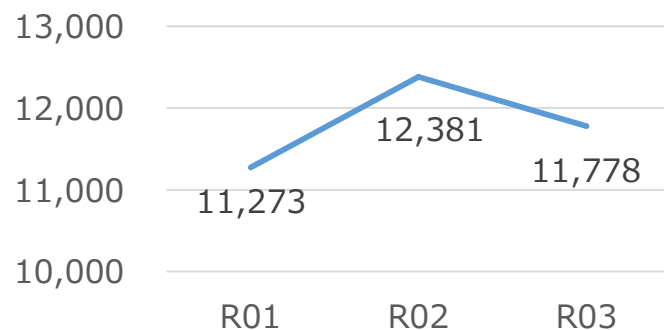
想いを紡ぎ 新たな未来へ

	主な影響
衣料事業	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料品消費市場への影響は一巡し、国内のスーツ、ニット製品などの市況は底打ちの兆し ・毛糸、テキスタイルの販売はやや回復するも、中国現地法人の毛糸販売は引き続き低調、コロナ前の水準への回帰は難しいものの、緩やかな市況回復を見込む ・快適、高品質、高機能、サステナブル素材などへの引き合い増が期待される
インテリア産業資材事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関係では、国内、中国現地法人ともにコロナの影響による半導体・自動車部品の調達不足の影響が大きく、減産になっている ・展示会は徐々に増え、カーペットおよびカーペット用ポリプロ原着綿の販売が戻りつつある ・OEM関係は、令和4年の後半から販売の回復が見込まれる ・高機能商材の中でも抗菌・抗ウイルスの機能が注目されている
エレクトロニクス事業	<ul style="list-style-type: none"> ・巣ごもり需要で、電動工具用ACコントローラーの受注が増加 ・衛生、医療機器用半導体の受注が増加 ・半導体不足のため、取引先の長期手配により、パワー半導体の受注が増加
ファインケミカル事業	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートワークの普及により、プリンターナー向けの低迷が続く ・外出制限により化粧品需要の回復が遅れ、化粧品原料の受注が減少
不動産事業	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィス、店舗の需要低迷により、新規テナント誘致に時間を要する ・ゴルフ練習場は屋外スポーツであるため、引き続き好調に推移
その他事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大学のリモート授業の恒常化、合宿免許（他社）の減少により、大学生の入校者数が増加（自動車教習事業） ・イベントや展示会の開催減少により、OEM化粧品販売が延期（ヘルスケア事業）

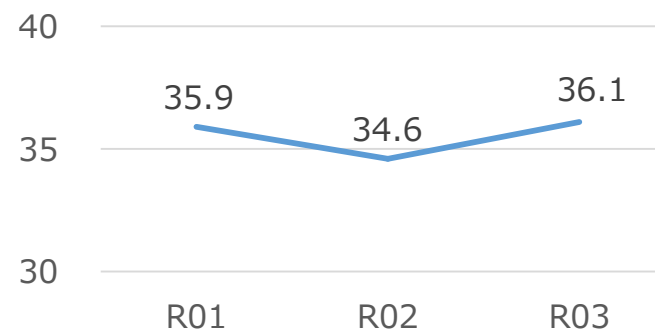
主要指標

(金額：百万円)	令和元年12月期 実績	令和2年12月期 実績	令和3年12月期 実績
総資産	31,120	31,248	31,488
純資産	11,172	10,822	11,368
有利子負債	11,273	12,381	11,778
ネットD/Eレシオ	84.6%	89.9%	81.0%
自己資本比率	35.9%	34.6%	36.1%

有利子負債



自己資本比率



連結貸借対照表 サマリー

(金額：百万円)

連結貸借対照表	令和2年12月	令和3年12月	増減
流動資産	9,533	9,733	200
固定資産	21,715	21,755	40
資産合計	31,248	31,488	240
流動負債	7,178	6,603	△574
固定負債	13,247	13,515	268
負債合計	20,425	20,119	△306
株主資本	10,363	10,533	169
その他包括利益累計額	450	826	376
非支配株主持分	8	8	0
純資産合計	10,822	11,368	546
負債・純資産合計	31,248	31,488	240
(自己資本比率)	34.6%	36.1%	1.5ポイント

連結キャッシュフロー サマリー

(金額：百万円)	令和2年12月累計	令和3年12月累計	
純利益	286	379	<u>営業キャッシュフロー</u> 主な増加要因： 仕入債務の増加 170百万円 主な減少要因： たな卸資産の増加 200百万円
減価償却費	374	356	
運転資金	△246	△32	
その他	△482	△39	
営業CF	△68	664	
設備投資	△342	△298	<u>投資キャッシュフロー</u> 主な減少要因： 有形固定資産の取得による支出 269百万円
その他	143	81	
投資CF	△199	△217	
長・短期借入金増減	1,258	△552	<u>財務キャッシュフロー</u> 主な増加要因： 長期借入による収入 4,220百万円 主な減少要因： 長期借入金の返済による支出 4,390百万円 短期借入金の純減少額 380百万円
社債増減	△150	△50	
配当金	△178	△89	
その他	△2	△1	
財務CF	928	△692	
CF増減	663	△200	

令和4年12月期 業績予想

(金額：百万円)	令和2年12月期 実績	令和3年12月期 実績	令和4年12月期 予想	前年同期比 増減率
売上高	14,752	15,532	16,000	3.0%
営業利益	270	358	450	25.7%
営業利益率	1.8%	2.3%	2.8%	0.5ポイント
経常利益	297	417	380	△8.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	184	258	220	△14.7%

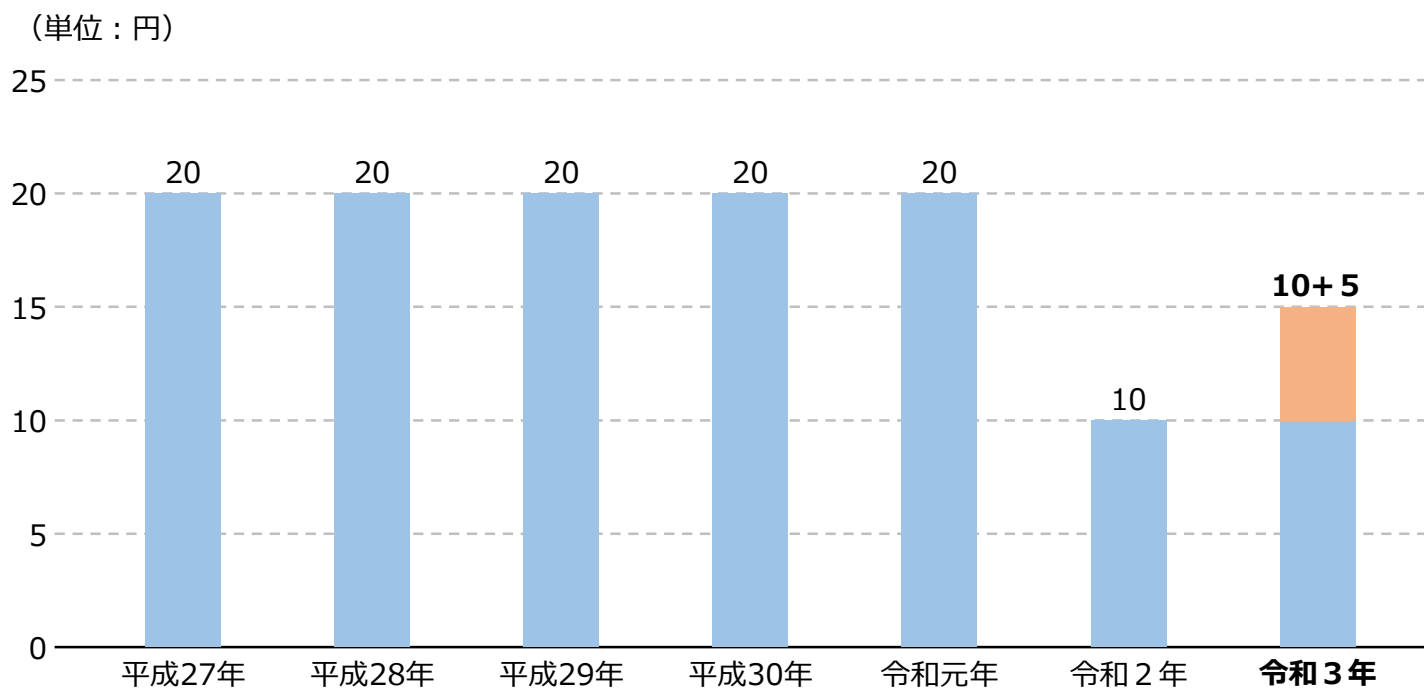
令和4年12月期は増収減益の業績予想

セグメント別業績予想

	実績			予想			前年同期比増減率		
	令和3年12月期			令和4年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
(金額：百万円)									
衣料事業	5,157	102	2.0%	5,350	120	2.2%	3.7%	17.6%	0.2ポイント
インテリア 産業資材事業	5,863	90	1.5%	6,250	160	2.6%	6.6%	77.8%	1.1ポイント
エレクトロ ニクス事業	2,298	46	2.0%	2,120	52	2.5%	△7.7%	13.0%	0.5ポイント
フアイ ンケミカル事業	1,022	44	4.3%	1,000	70	7.0%	△2.2%	59.1%	2.7ポイント
不動産事業	890	544	61.1%	900	525	58.3%	1.1%	△3.5%	△2.8ポイント
その他	300	△38	—	380	3	0.8%	26.7%	—	—
調整額 (販管費等)	—	△430	—	—	△480	—	—	—	—
合計	15,532	358	2.3%	16,000	450	2.8%	3.0%	25.7%	0.5ポイント

1株あたり配当

令和3年12月期は、1株あたり10円の普通配当に加え
1株あたり5円の創立100周年記念配当を実施



トピックス

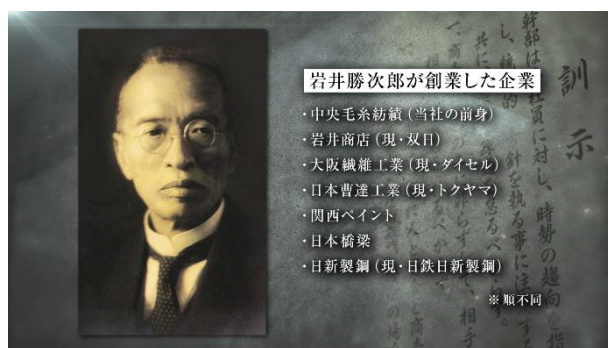
▶100周年記念動画公開

2022年2月8日に創立100周年を迎えたトーア紡グループでは、記念動画を作成しコーポレートサイトに公開いたしました。

これまでの100年を振り返るとともに、これからの100年に向けた想いを込めた作品となっております。

是非ご視聴ください。

▶ TOABOコーポレートサイト <https://www.toabo.co.jp>



本資料の取り扱いについて

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画に関する記述等は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。